

今日の給食は、鶏肉のマーマレード焼き、ブロッコリーとチーズのサラダ、ポトフ、バターロール、牛乳でした。今日は、週に一度の「パンの日」でした。わたしは、主食と言えば圧倒的に「ライス派」(なにせ田園地域に育ったもので…)なのですが、休日の朝食にパンを焼いて(注:作るわけではない。トースターで)食べたり、ちょっと離れた場所のパン屋さんに焼き立てのパンを買いに行ったりすると、ちょっぴり優雅な気分になります。手間や時間を「あえて」かけることや、いつもと違う感じ(特別感)がいいのかな(自己分析)…。最近は「高級食パン」も人気があるみたいですね(行列ができるお店もあるとか)。子供頃は、菓子パン以外は食パンが主だったので、本日の給食にも登場した「バターロール」が家にあると、とても特別な感じがして嬉しかったような気がします。ポトフも昔から大好きなメニューです。野菜があまり得意ではなかったのですが(大きく切られたもの。酢豚のニンジンのような…)、ポトフの野菜は大きくても柔らかく、味があっておいしく食べられたんですね。でも、昔のニンジンは、もっと匂いと味に強烈な個性があったように思うのですが、気のせいかしら？

